

広報

# やまこし

1977  
12/1  
第114号

発行 新潟県古志郡山古志村役場 電話 竹沢局 (025859) 2331 (代表) 印刷 大川印刷株式会社

長かった秋。しかし厳しい冬が今、始まる  
うとしている。新しい年もすぐそこに……。  
(52年初雪。11月23日)



村の人口		-11月1日現在-	
世帯数	960	(男)	1,926人
人口	3,870人	(女)	1,944人
出生	1人	死亡	5人
10月中の住民移動	(男0・女1)		(男4・女1)
転入	14人	転出	9人
	(男5・女9)		(男4・女5)

- 主な記事
- 産業まつり審査報告
  - 村政功労者を表彰
  - 新しい民生委員
  - 除雪にご協力を
  - 冬の交通事故防止運動
  - 歳末助け合い運動
  - 工業統計調査
  - 国民年金
  - 第十回記念全日本錦鯉品評会

## 第10回記念 全日本総合錦鯉品評会

期日 昭和53年 1月17日～23日  
搬入受付 1月19日  
審査 1月20日  
一般公開 1月21日～22日  
表彰式 1月22日

会場 東京流通センター展示館  
会期中 TEL (03) 767-2145～8

- 出品申込みは11月20日から12月20日まで。
- 出品料は1点につき10,000円。
- 当日受付けは手数料2,000円加算。
- 申込用紙は漁協又は役場でどうぞ。

新有権者  
感想文募集  
明るい選挙推進協会で新有権者(新成人)の感想文を募集しています。  
○内容は  
新有権者として、選挙を経験し政治への参加についての考え方、感じたことなど、標題はその内容

にふさわしいものとなっています。  
○字数は  
一、六〇〇字以内  
○応募資格は  
昭和三十一年一月一日から昭和三十三年十二月三十一日までの間に生まれた者。  
○締切は  
今月末日(当日消印有効)  
○提出先  
村選挙管理委員会



お知らせ

○賞  
最優秀賞・入賞には自治大臣佳作には財団法人明るい選挙推進協会会長の賞状に併せて次の副賞が贈られます。  
最優秀賞 一篇 五〇,〇〇〇円  
入賞 五篇各二〇,〇〇〇円  
佳作 若干各一〇,〇〇〇円

### 昭和五十二年 農業教育センター 専攻科生募集

- 1 募集人員 約四十人
- 2 修業年限 一年
- 3 専攻部門 稲作、野菜作、酪農(肉牛を含む) 養豚
- 4 応募資格 農業に従事する意志 確実で、身体強健、志操堅固であり、次のいずれかに該当する者  
(1) 高校卒業又は卒業見込みの十八才から二十二才までの者。  
(2) 前項と同程度の学力があると認められる者。
- 5 出願書類(1) 入願書、営農状況調査書(農業委員会委員長証明書) 各一通  
(2) 最終学校卒業証明書

- (3) 最終学校調査書(健康状況も記載) 一通
  - (4) 農業改良普及所長の推薦書
  - (5) 専攻科志望に関する調査書一通
  - (6) 写真
  - 6 願書受付 昭和五十三年一月十日～一月二十八日
  - 7 入所試験 昭和五十三年二月八日 日原農業教育センター
  - 8 試験科目 作文、一般教養、口頭試問
- くわしくは農業委員会へ

### 保育所入所申込受付はじまる

種芋原・虫亀・竹沢、各保育所に来年四月から入所を希望される児童の申込を受けております。該当児童は家庭の事情で保育を希望される方で児童福祉法による保育所への入所の措置基準に適合する児童。  
○入所申請書は役場住民課又は保育所にあります。  
○申込先は直接役場住民課へ。  
○申込切は12月末日  
(お問合せは 電話2332 役場住民課へ)



### 年末年始の 休暇について

恒例により十二月二十九日から明年一月三日まで、年末年始の休暇として、役場・診療所・保育所の平常業務を休ませていただきます。

戸籍関係の届出、または、急を要するご用件があるときは、当直者にお申し出ください。  
(総務課)

# でいっけえ 大根だんごあそび！

## 第一回

### 11月6日

#### 産業まつり

村の産業の見直しと、活気ある山古志村にするため行なわれた第一回産業まつりは、みなさんのご協力により予想を上回る盛況となりました。汗の結晶である生産物は約七五〇点の出品がありこの中から金賞三十二点、銀賞百五十九点がそれぞれ選ばれました。また即売会も好評で、なかでも写真展・山古志そば・やきいもコーナーは大変な賑わいとなりました。審査報告は次のとおりですが、難しい条件のなかで、農業生産を高めるため、今後この催しが更に充実するようにご協力をお願いします。



## 審査報告

今年は、天候に恵まれ米作を始め野菜・果実等の農産物全般に作柄が良く、農家各位のご協力が報われたことは誠に喜ばしいことでもあります。

以下順を追って品評会審査に当りまして、感じました概要を申し上げます。ご参考に供したいと思います。

「コク類」には優品が多く栽培農家の努力がうかがわれます。

玄米は、出品点数一八点で審査

は整粒・品質について行いました。出品物は粒張・光沢・整粒等にも優れており優秀なものが揃っておりましたが、全般に調整における肌摺れや未熟粒の混入が一部目立った点は残念でありました。

大豆は、出品点数六六六と多く粒張の良い優秀なものが多くありましたが、紫斑病の被害粒が非常に多く、次年度以降の栽培においては罹病種子を使用しないように厳選するよう御注意願います。

小豆は、過去に優品を産してきた実績がうかがわれるような優秀なものが揃っており、出品点数は四四四で村外において一級品として十分通用するものと思われませんが、品評会用としては選別の不足な調整不良のものが目立ちましたので、商品として注意して頂きたいと思えます。

落花生・ソバ・ササゲ等の特用作物は一九九点の出品があり、それぞれに努力のあとがうかがわれますが、今一步の努力をお願いしたいところです。

「野菜類」の審査にあたっては、特に品種の特性が発揮され、品

## 村政功労者 表彰される 特別功労など13名



- 村の功労者表彰式は、例年文化の日になんで行なわれています。今年も、十一月三日役場の議場において、村の発展に功績をのこされた次の方に記念品を添え表彰状及び感謝状が授与されました。
- 村議会議員として二十年以上勤続された方
- 酒井 省吾 (虫 亀)
- 関 広 (油 夫)
- 村職員として二十五年以上勤続された方
- 坂牧 登米吉 (種等原)
- 村の消防団員として二十年以上勤続された方
- 坂牧 金重 (種等原)



### 交通事故をなくそう

質良好で商品性のあるものを加味して実施しました。

いも類の出品点数は九四四と多く、里芋、ばれいしょは、つぶが揃い良質のものが多くみられました。また、長芋は全般的に長さはありますが若干肉付の少い細いものも多くみられました。

いも類の出品方法として土をよくくおとし、肌をきれいにしして出品するように注意願いたいものです。

「根菜類」は、出品点数三二五と少く、土地条件からして止むを得ないと考えられますが人参の出品はなく、午ぼうも一点とさびしい状況でした。

今後は大根を中心に多くの出品を期待したいものであります。

「根菜類」は大きさよりも、よく揃ったものを出品するよう心掛けてほしいものです。

「葉菜類」は野菜菜を中心に九五点の出品がありました。白菜、か

これは今秋の高温の結果からのことと思われませんが、葉菜類は適期に収穫し、白菜、かんらんは外葉をとらずに、よくしまったものであることが望まれます。

よりよいものを出品するために、土作り、深耕等に注意頂き栽培されることをお願いいたします。

その他、ゆり、こんにゃく、にんにく、れんこん、甘藷等良好のものもありましたが、出品数が少く、今後多くの出品を期待いたします。

「錦鯉」は、出品数七十二点であり時期的に少なかつた事は止むを得ないが、質的に見劣りがあり、特に二三部の優秀品がなかったことは残念でした。

しかし五部のうち二三部と当才の光りものは優秀であり、即売品の展示もあつた事は有意義であつたものと思われま

積極的に多くの出品を希望いたします。

「民芸品」 時期的に民芸品の出品は困難かと予想されたのですがみなさんのご協力により百点余の出品がありました。作品には数年来より研究努力のあとがはっきり表われており、なかでも闘牛のスケ細工、錦鯉の刺しゅうなどが好評で、これからも客によるご褒めする山古志にふさわしいものをめざして一層の努力をお願いします。

長岡農業改良普及所  
山古志支所長 中沢 正  
外審査員一同

- なお、金賞を受けた方は次のとおりです。
- |        |       |
|--------|-------|
| 樺沢 伊助  | 長島 健治 |
| 小川 八郎  | 五十嵐福一 |
| 青木 文博  | 小川 竹治 |
| 高野 国雄  | 青木 幸七 |
| 長島寅三郎  | 星野 イツ |
| 星野 六三  | 畔上 勝  |
| 星野 要治  | 藤井 正作 |
| 青木 誠司  | 星野 行栄 |
| 星野 義雄  | 小川 虎二 |
| 星野 スミ  | 諸橋 松一 |
| 小川 甚四郎 | 小川 キイ |
| 坂牧 正信  | 齋藤 正助 |
| 坂牧 吉太郎 | 五十嵐利雄 |
| 星野 健太郎 | 高野 達治 |
- また、この他百五十九点が銀賞に入賞しました。

## 地域社会の奉仕に

### 新しい民生委員十四名

- このたび、任期満了により、次の十四名の方が新しい民生委員に決まりました。これらの方々は、十二月一日付けで村の民生委員として厚生大臣から任命され、これから二年間児童委員も兼ね福祉の増進に活躍されるわけです。
- 民生委員・児童委員は、地域社会の福祉のために奉仕的な精神で地味な仕事をしていただくもので、恵まれない人たちのよき相談相手となって自立更生の援護、老人・児童などのしあわせのために活動してまいりますので、みなさんのご協力をおねがいします。
- |       |      |     |
|-------|------|-----|
| 氏名    | 年齢   | 部落  |
| 坂牧 常英 | (三六) | 種等原 |
| 金内 友次 | (五一) | 〃   |
| 坂牧太郎七 | (六二) | 〃   |
| 酒井 富作 | (五九) | 虫 亀 |
| 長島元三郎 | (五三) | 〃   |
| 星野 ユリ | (四九) | 竹 沢 |
| 高野 文枝 | (五七) | 〃   |
| 小池 三夫 | (五六) | 〃   |
| 齊藤 一  | (五四) | 南 平 |
| 畔上勝太郎 | (五八) | 〃   |
| 五十嵐 務 | (四六) | 東竹沢 |
| 関 喜美枝 | (四四) | 〃   |
| 畔上才次郎 | (六九) | 〃   |
| 小川 隆正 | (四三) | 〃   |

## 道路に災害が

### 発生したときは……

急激なモーターリオンによるり、いったん道路に災害が発生した場合、大きな事故につながるおそれがあります。

このため、道路の欠陥、落石等の危険な状態になった場合、また冬期間のなだれ発生の場合などに

は、災害を予防するため、事前の交通止めや交通規制を行うので一般の通行者もご協力ください。

また、道路管理者や警察の知らない間に災害が発生している場合、発見した人はすぐ村役場の建設課へ通報してください。

### 240万県民の 総力をあげて



# みんなで明るいお正月を

## ＝ 歳末助け合い運動 ＝

みんなで明るいお正月を...と、いま、歳末助け合い運動が行われています。

クリスマスやお正月をひかえて師走の寒空に気の毒なくらしを送っている人、暖い家庭を離れて長い療養生活をしている人...このような人たちにも、せめて明るいお正月を迎えてもらうよう、みんなで助け合いの手をさしのべましょう。

区長さんを通じ歳末助け合いの募金袋が配られますので、この趣旨をご理解のうえ、あたたかいご協力をお願いします。

目標額は一世帯平均二百円  
住民課

# サラリーマンと

## 年末調整

十二月はサラリーマンにとって年末調整の月です。

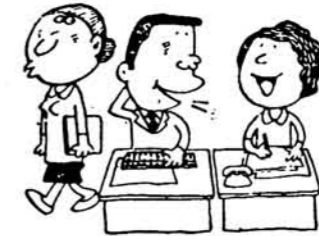
サラリーマンのほとんどの方は毎月の給料から、所得税を差し引かれています。この税額は、あくまでもその月々の給料について計算されたものです。そこで一年分の所得に対する税額を正しく計算するため、ことし最後の給与の支払を受けるとき、①年の中途での出生、結婚、就職など扶養親族等の増減、②一年間に支払った生命保険料や損害保険料、③住宅取得控除として税務署から通知のあ

った金額...などがいっしょに精算されます。

年末調整の結果、それまでに差し引かれた税額が年税額に比べて多くなっている場合は税金が戻り、逆に少ない場合は納めることになります。

大部分のサラリーマンは、この年末調整によって、ことし一年間の納税が完了し、改めて確定申告をする必要はありません。しかし災害や盗難にあった人、多額の医療費を支払った人などは、確定申告によって税金の還付を受けることができます。

なお、給与の年収入額が一千万円を超える人、給与所得及び退職所得以外の各種の所得金額の合計額が二十万円を超える人、二か所以上から給与を受けている場合で一定の要件にあたる人などは、確定申告をしなければなりません。確定申告の期間は二月十六日から三月十五日までです。



# 工業統計調査に

## ご協力ください

工業統計調査が十二月三十一日現在で実施されます。

この調査は、製造業の国勢調査ともいえる重要な調査で、毎年全国のすべての製造事業所を対象に実施するもので、調査の結果は国民生活の広い分野で活用され、「住みよい日本」を築くために役立っています。

なお、この調査は、工業の実態を明らかにするため、統計法に基づく指定統計調査として行われるもので、秘密は厳重に守られています。税金の徴収などのために用いられることは絶対ありません。調査票にはありのままを記入くださるようご協力をお願いします。

# くらしのちえ



電子ジャーの保温は半日が限度。寒くなると、どこのご家庭でも電子ジャーを使う所が多いと思

ます。正しく使っておいしいご飯にしましょう。

おいしさは数時間、ご飯が黄色くなる、ご飯がにおう、原因はマイラード反応と言いつつ長時間保温にしておくとき起る現象です。

保温時間が長いほどビタミンB<sub>1</sub>が減ることになります。

肝心の味の方は、テストの結果炊き上がり四時間目ぐらいいからご飯の固さにムレがひどくなり、ご飯のおいしさはなくなって来ます。使い方によっては細菌の培養器。

- ①十分洗米
- ②保温中に電源を切らない
- ③使ったシャモジを入れない
- ④外ブタを閉め忘れない
- ⑤冷たいご飯の加熱、ご飯のつきたし保温をしない
- ⑥混ぜご飯、赤飯、茶わんむし、汁もの保温はやめましょう。

# 〈国民年金〉

## 老後とねんきん

さきごろ、厚生省から発表された「昭和五十一年簡易生命表」によれば、女性の平均寿命が「喜寿」にあたる七十七歳、男性も七十二歳をそれぞれ越えました。

この結果、わが国はスウェーデンなどと肩を並べて世界でも一、二を争う長寿国になりました。

長寿は大変におめでたいことですが、見方を変えればわたくしたちの老後がそれだけ長くなり、心配のタネが増えたことにもなります。

最近、欧米のようにわが国でも「核家族化」が定着してきたことにより、年をとっても経済的には子供たちからの扶養もあまり期待できなくなりました。

また、高齢になれば体に無理はききませんし、働く職場も少なくなり現金収入を得て生活することも難しくなります。

今日では、老人の生活問題はどうしても社会全体で解決する方向で考えなければなりません。

国民年金をはじめ厚生年金、船員保険、各種共済組合など公的年金と呼ばれる八つの年金制度はこの対策の柱をなすものです。

年金制度とは、これまで家庭内で行なわれてきた親孝行に代わって、社会全体で行なう親孝行と言えます。

ところで、国民年金は、厚生年金などの他の公的年金制度に加入していない二十歳から五十九歳までの人を加入対象にしている制度です。

「年金」を受けるためには決められた期間、保険料を納めなければなりません。

それに、保険料は決められた期限に必ず納めることが大切です。だれにも、老後は確実にあわてきません。その時になってあわても、もう間に合いません。

「老後の生活設計」はわたくしたちのひとりひとりが、自分にかかわる問題として若いうちから取り組むべきではないでしょうか。

# おたけおたけ (95)

二十村地名 起源考

修 抄 軍 記

前項の続

苗場再度の登山は、登山が主たる目的ではなく信越両国にまたがって、その昔、平家の落人がかくれ住んだと伝えられる秘境として有名なこの地方の村々を知りたくてのことであった。

その見聞をここに記すと長くなるので後日の機会にゆずり、一寸ふれて見る程度にした。

見たり聞いたりしてみると、何処でもあるように郷の区域は判つきりしていないようであったが、新潟県側では眼の不動様として名のある見玉不動のある中魚沼郡津南町見玉が、秋山郷の人口だと土地の人は話してくれた。穴藤、逆巻、上結東、見倉、中ノ平、清水河原、前倉、大赤沢でその昔は魚沼郡妻有荘山奥秋山入りと呼ばれていた。

長野県側に入ると、既に天明天保時代の飢饉のため全滅した大秋山、甘酒、矢櫃の各村は跡方もないが、小赤沢、屋敷、上ノ原、和山、切明などがある。

信濃奇勝録のなかに、

秋山とよべり往古は五穀なくだ、こんにやくのみを作りてその根を食せしよし

今は山々の岨を火にて焼払い、粟、ひえ、そば、大豆等を作り又は栃の実を拾いて食す。中にも粟を第一の食となすにや、正月七日には、あわがらにて大なる男根の形を造り今年の粟はかくのごとくと家ごとに持てて祝言すといへり。

と記しているが記録によれば、水稲の作り初めは大正八年からだという。また北越雪譜の著書の一部に

信濃と越後の国境に秋山という処あり、大秋山村というを根元として十五ヶ村をなべて秋山と呼ぶなり。

と説明し大秋山村はこの地の根元で人家八軒あったが天明の凶作で先祖相伝の武器などが沢山あったものを食糧にかえ、なおたらずして一村残らず餓死したと書いてある。援助の手を簡単にさしのべられなかった交通不便な山奥だったことを示している。

一夫これを守れば万卒も越えがたき山問幽僻の地なりとも記している。この地方では今でも駐在所はないという。

